

大切な赤ちゃんの安全の為に



大切な赤ちゃんを不慮の事故から守るため、
バウンサーをお使いいただく前に必ずお読みください。
取扱いを誤りますと、重大な事故につながる危険があります。

- 本製品は、常に保護者の目の届く場所でご使用ください。ご使用中にその場を離れたり、目を離さないように十分注意してください。
- 使用中は必ずシートベルトをご使用ください。新生児用スワドルベルトが付いている場合は、ご使用ください。
- お子さまの首がすわるまでは、必ず背もたれを最も倒した状態でご使用ください。
- ご使用前にリクライニングレバーが確実にロックされていることを確認してからご使用ください。また、背もたれを最も倒した状態でも、必ずリクライニングレバーをロックしてからご使用ください。
- ホ口付きのバウンサーで、ホ口をお使いになる場合は、ホ口を完全に開いた状態でお使いください。ホ口を半分閉じた状態や、ホ口を中途半端な位置で固定して使用しないでください。何かの拍子でホ口が閉じてしまいます。また、ホ口を閉じてご使用になる場合（もしくはホ口が閉じてしまった場合）は、お子さまが動いてお子さまの顔がホ口に被ることがないようにご注意ください。窒息の危険があります。
- 本体前方にイスのように座らせないでください。転倒する危険性があります。特に、前かがみになりますと、非常に危険です。
- お子さまがバウンサーに乗るのを嫌がる場合、もしくはバウンサーの上で大きくのけぞったりして、バウンサーを拒絶するような動きをしている場合は、無理に使用しないでください。
- 本製品の連続使用時間は、長時間同じ姿勢であることを避けるため、1時間程度にしてください。
- バウンサーは寝具ではありませんので、お子さまが就寝の際は、布団やベッドに移してください。
- シートにタオル等を重ねて使用される際は、お子さまが滑り落ちる危険性がありますのでご注意ください。
- シートの上で立ったりすると危険ですので、おやめください。
- 2人以上のお子さまを同時に座らせて使用しないでください。
- お子さまを乗せた状態で持ち運んだり、リクライニング操作を行うことは危険ですのでおやめください。
- ホ口、トイバー、まくら等の本体付属品を使用される際は、バウンサー本体に確実に取り付けてください。また、ホ口、トイバーを持って本製品を移動させることは危険ですのでおやめください。
- 本製品は室内でご使用してください。車内、屋外では使用しないでください。
- 階段の近くや床面から離れた場所等、安定しない場所、落下の危険性がある場所では使用しないでください。
- 本体フレームは金属製ですので、フローリング等でのご使用は床に傷がつく恐れがあります。ご注意ください。
- 本体に変形や破損等が見られた場合はただちにご使用をおやめください。
- 火気の近くでのご使用・放置は、本体の変形や破損、お子さまのやけど、けがの原因となりますので絶対におやめください。
- 使用する時は平らな場所を選び、まわりに危険なものがないことを確認してからご使用ください。

ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップ等の非正規流通経路にて販売されている製品は、使用履歴等が不明なため、ご使用されると非常に危険な場合がございます。

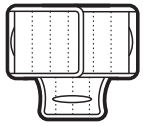
どり～むバウンサーEX エクストラ

取扱説明書

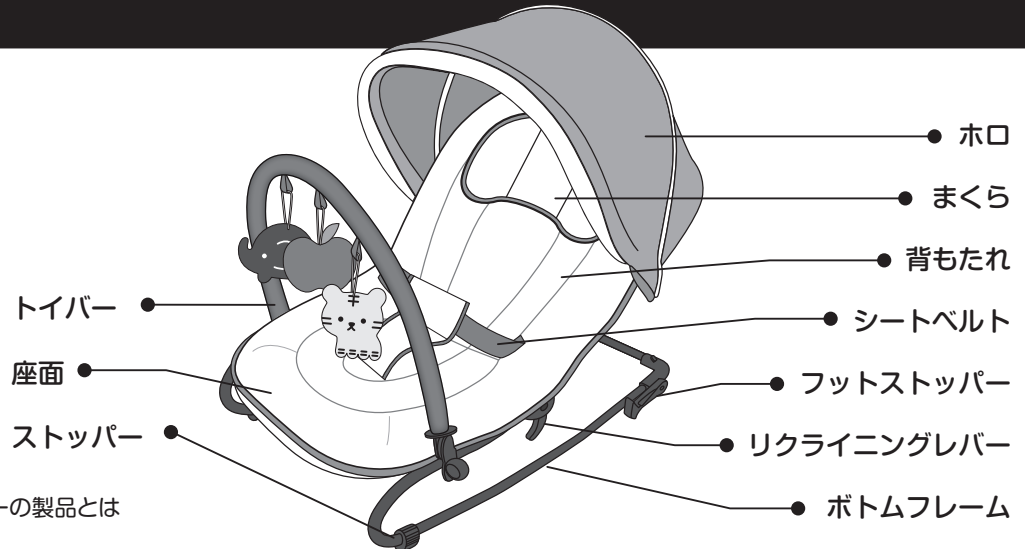
- このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
また、本製品を他の方にお譲りになる場合は、必ず本書も併せてお渡してください。
- 本書に使用しているイラストは、組み立て方法などをわかりやすくするため
現物とは多少異なることがあります。

各部の名称

スワドルベルト



(新生児用)



※本書のイラストは他のカラーの製品とは異なる場合があります。

使用上のご注意

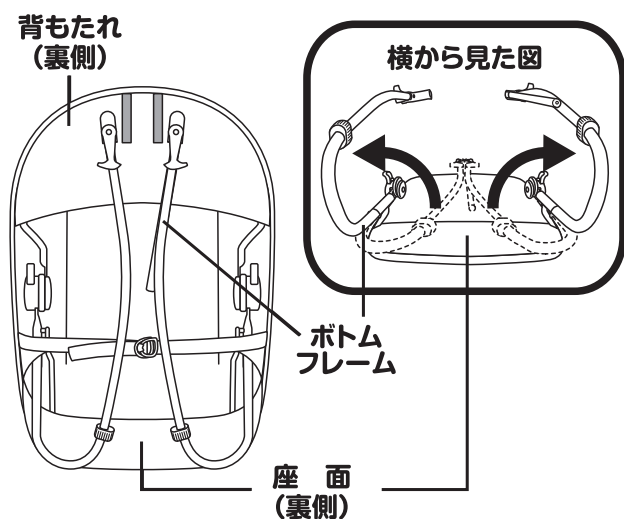
安全のために必ずお読みください。
※重要な項目ですので、ご使用前に必ずお読みください。

警告 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

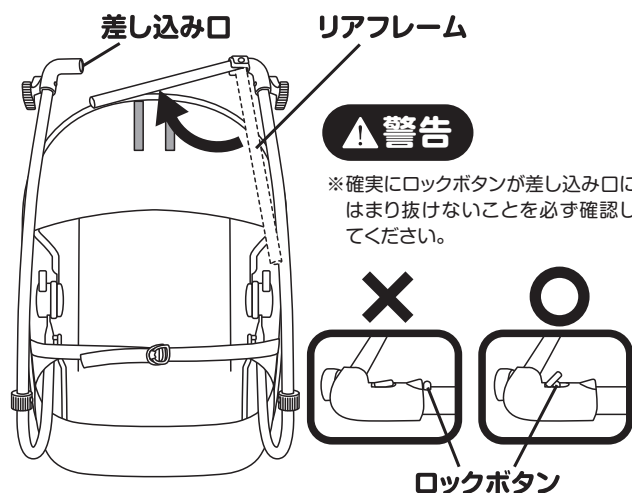
- 本製品は、常に保護者の目の届く場所でご使用ください。ご使用中にその場を離れたり、目を離さないように十分注意してください。
- 使用中は必ずシートベルトをご使用ください。また、お子さまが新生児の場合は、スワドルベルトをご使用ください。
- お子さまの首がすわるまでは、必ず背もたれを最も倒した状態でご使用ください。
- ご使用前にリクライニングレバーが確実にロックされていることを確認してからご使用ください。
また、背もたれを最も倒した状態でも、必ずリクライニングレバーをロックしてからご使用ください。
- ホロをお使いになる場合は、ホロを完全に開いた状態でお使いください。ホロを半分閉じた状態や、ホロを中途半端な位置で固定して使用しないでください。何かの拍子でホロが閉じてしまいます。また、ホロを閉じてご使用になる場合(もしくはホロが閉じてしまった場合)は、お子さまが動いてお子さまの顔がホロに被ることがないようにご注意ください。窒息の危険があります。
- 本体前方にイスのように座らせないでください。転倒する危険性があります。特に、前かがみになりますと、非常に危険です。
- お子さまがバウンサーに乗るのを嫌がる場合、もしくはバウンサーの上で大きくのけぞったりして、バウンサーを拒絶するような動きをしている場合は、無理に使用しないでください。
- 本製品の連続使用時間は、長時間同じ姿勢でいることを避けるため、1時間程度にしてください。
- バウンサーは寝具ではありませんので、お子さまが就寝の際は、布団やベッドに移してください。
- シートにタオル等を重ねて使用される際は、お子さまが滑り落ちる危険性がありますのでご注意ください。
- シートの上で立ったりすると危険ですので、おやめください。
- 2人以上のお子さまを同時に座らせて使用しないでください。
- お子さまを乗せた状態で持ち運んだり、リクライニング操作を行うことは危険ですのでおやめください。
- ホロ、トイバー、まくらを使用される際は、バウンサー本体に確実に取り付けてください。
また、ホロ、トイバーを持って本製品を移動させることは危険ですのでおやめください。
- 本製品は室内でご使用してください。車内、屋外では使用しないでください。
- 階段の近くや床面から離れた場所等、安定しない場所、落下の危険性がある場所では使用しないでください。
- 本体フレームは金属製ですので、フローリング等でのご使用は床に傷がつく恐れがあります。ご注意ください。
- 本体に変形や破損等が見られた場合はただちにご使用をおやめください。
- 火気の近くでのご使用・放置は、本体の変形や破損、お子さまのやけど、けがの原因となりますので絶対におやめください。
- 使用する時は平らな場所を選び、まわりに危険なものがないことを確認してからご使用ください。

組み立て方法

① 左右のボトムフレームを外側に向けて回転させ、起こします。

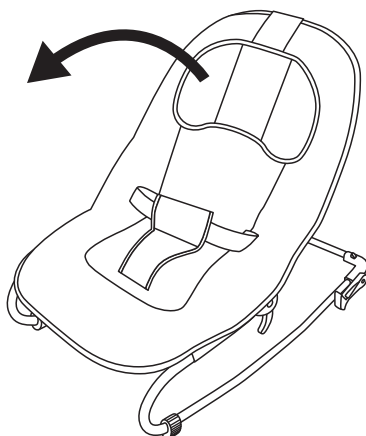


② リアフレームをボトムフレームの差し込みに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

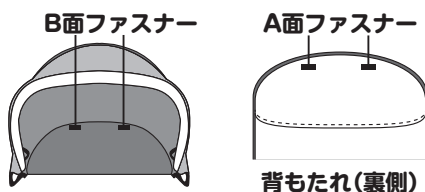


ホロの取り付け方

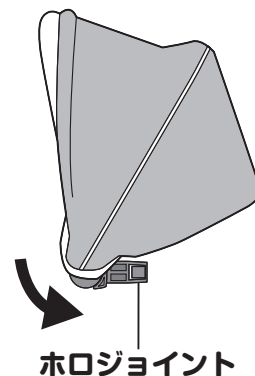
① 背もたれを起こします。



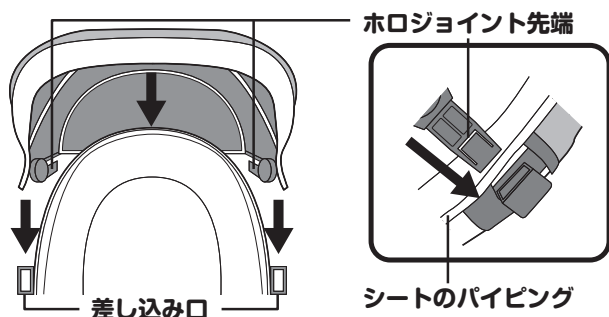
② ホロの中にある、B面ファスナーを確認してください。背もたれの裏側にあるA面ファスナーと合わせるようになります。



③ ホロジョイントを約90度外側に曲げます。



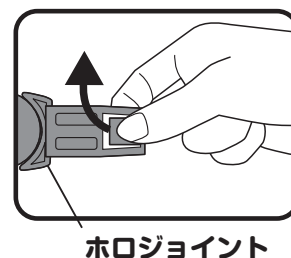
④ ホロを背もたれにかぶせて、ジョイントの先端を差し込み口に差し込みます。差し込む際に、シートのパイピングを挟み込まないようにして、ジョイントの先端をしっかりと差し込んでください。



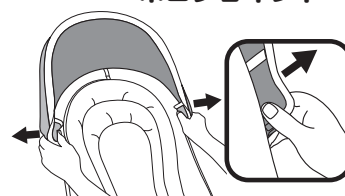
注意 ホロの取り付け時の注意事項

注意：1) ホロジョイント先端を差し込み口に挿入する際に、シートのふちを挟み込まないように挿入してください。また、ホロジョイント挿入後、ホロジョイントのツメが軽くロックすることを確認してください。シートのふちを挟み込んだままホロジョイントを挿入しますと、ホロジョイントの固定が不完全になり、抜けやすくなります。

注意：2) ホロジョイントのツメのかけが悪い場合は、差し込む前に指で持ち上げて、しっかりとロックされるよう調節をお願いします。ただし、ツメが折れるまで力を加えないようご注意ください。



注意：3) ホロジョイント先端を差し込んだ後に、ホロジョイントの内側から外側に向けて軽く力を加えていただきますと、ツメのロックがかけやすくなります。



注意

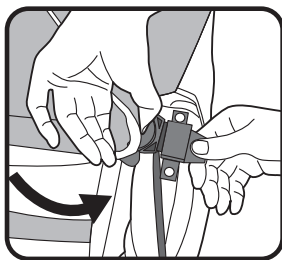
※ホロを構成するフレームは形を維持するために固くできております。ホロジョイントを差し込む際は、ホロのフレームをしっかりと手で保持して取り付け作業を行ってください。片側のホロジョイントを差し込んだ際に、反対側のホロジョイントの跳ね上がりに注意してください。

警告

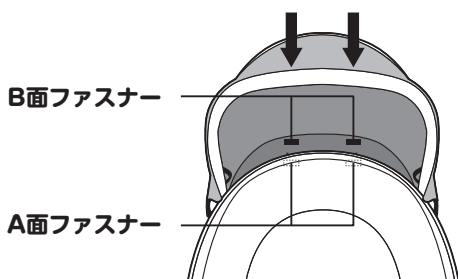
※確実にロックボタンが差し込み口にはまり抜けないことを必ず確認してください。

ホロの取り付け方

- ⑤ ホロを取り付けた際、ジョイントに直接接触れることを避けるため、ジョイントカバーでジョイント部分を覆うように整えてください。

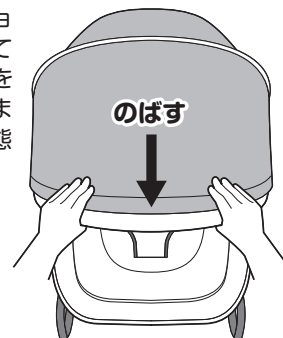


- ⑥ ②で確認したABの面ファスナーの位置を合わせ、留めます。



- ⑦ ホロの先端に力を掛けて、ホロをしっかり伸ばします。2、3回ぐいぐいと力を掛けて、左右のバランスが均等になるよう、ホロの取り付け位置を整えます。

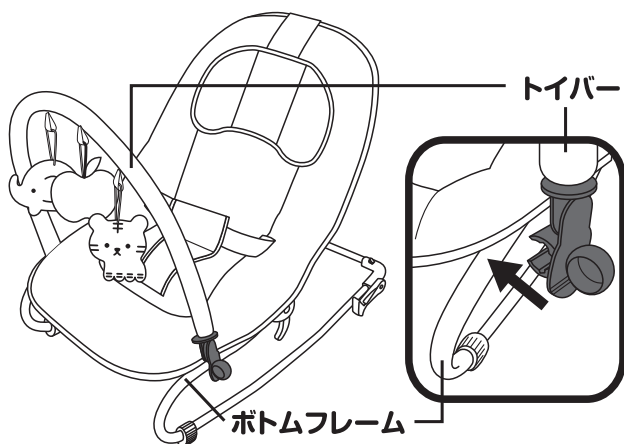
ホロをご使用の際は、ホロジョイントが差し込み口に対してまっすぐになるようにホロをしっかり伸ばしていただきますと、ホロが完全に開いた状態でお使いいただくことができます。



※ホロを持って本体の移動は絶対にしてしないでください。

トイバーの取り付け方

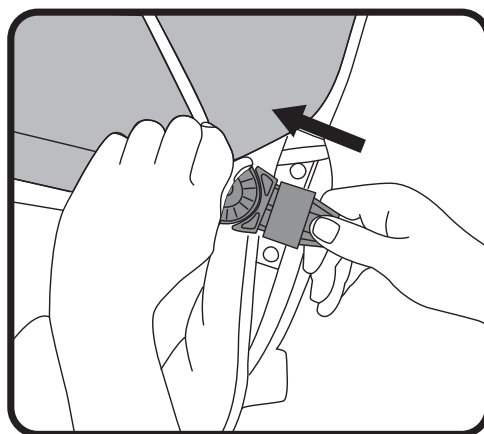
トイバーを左右のボトムフレームに、しっかり差し込んでください。



※フレームの接続部には取り付けしないでください。トイバーを持って本体の移動は絶対にしてしないでください。

ホロの取り外し方

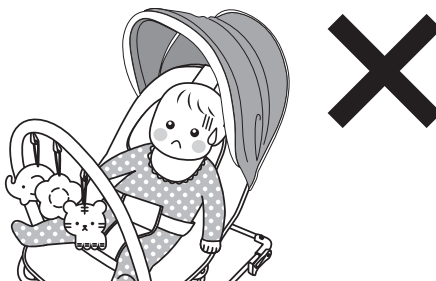
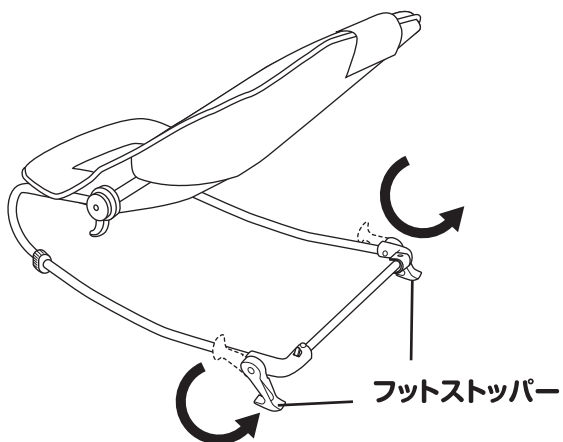
ホロジョイントの先端のツメを押さえて、2箇所のホロジョイントを引き抜いてください。



※取り外す際、指をはさまないようご注意ください。また、反対側のホロジョイントの跳ね上がりにも注意してください。

フットロッパーの使い方

図のようにフットロッパーを回転させると、バウンサーの揺れを止めることができます。



※ホロを使用される場合は、ホロを完全に開いた状態でお使いください。ホロが半分開いた状態やホロを中途半端な位置で止めて使用することは行わないでください。ホロは途中で止めて使用する構造にはなっていないので、何かの拍子でホロが閉じてしまいます。



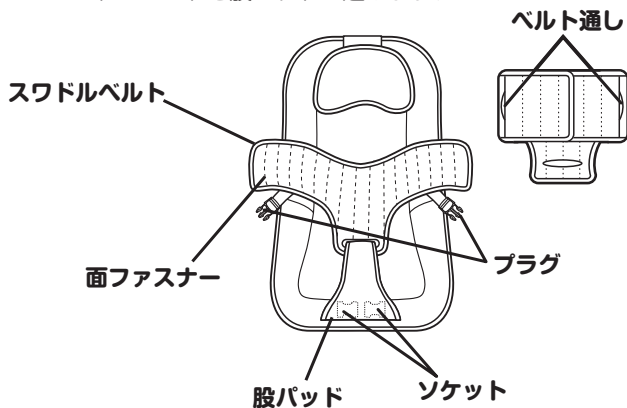
※ホロを閉じた状態でお使いになる場合（もしくはホロが閉じてしまった場合）に、お子さまが動いて、お子さまの頭がホロに被ることがないようにご注意ください。窒息の危険があります。

赤ちゃんの固定方法

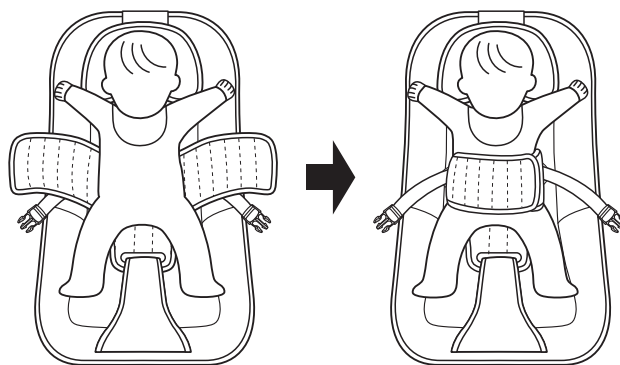
赤ちゃんがシートベルトから抜け出て不慮な事故の発生を抑えることを目的として、新生児を対象にしたスワドルベルトを標準装備しています。スワドルベルトは赤ちゃんに無理な力をかけることなく赤ちゃんの拘束力を高めます。首がすわるまでは、必ずご使用ください。

◆首がすわる頃まで(月齢目安～3・4ヶ月頃まで)

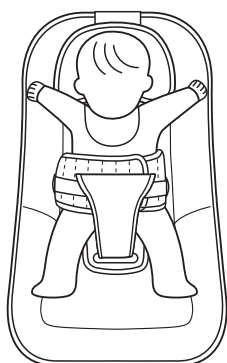
- ① シートベルトのプラグを外し、スワドルベルトを股パッドに通します。



- ② 股パッドをまたぐようにお子様を乗せ、腰にスワドルベルトを巻きます。巻き具合は面ファスナーで調節します。



- ③ 股パッドを起こし、シートベルトのプラグを股パッドの中にあるソケットにしっかり差し込みます。

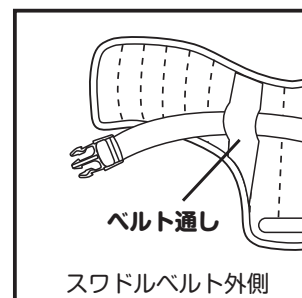


※ベルトを巻いた際にスワドルベルトとお子様の体にすき間がないことを目安にしてください(締めすぎると腹部を圧迫してしまいますのでご注意ください。股ベルトとお子様のおなかの間に手の平が入る程度が目安です。)

※シートベルトを左右に引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。

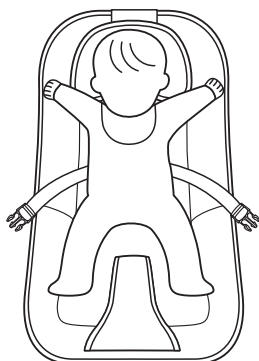
※スワドルベルトは新生児期に使用してください。

シートベルトはスワドルベルトの左右のベルト通しに必ず通してください。



◆首がすわってから(月齢目安3・4ヶ月～)

- ① 股パッドをまたぐようにお子様を乗せます。



- ② 股パッドを起こし、シートベルトのプラグを股パッドの中にあるソケットにしっかり差し込みます。



※シートベルトを左右に引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



警告

※1時間を超える連続使用を避け、熟睡させる際は本製品ではなく、お布団やベッドをご使用ください。

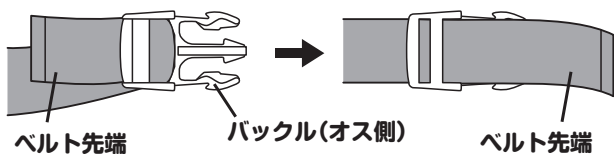


注意

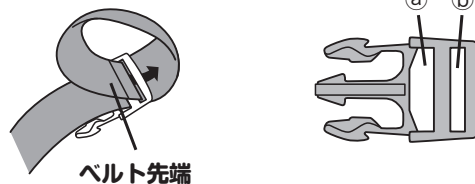
※必ず保護者の目の届くところでご使用ください。

シートベルトの調整方法

① バックルのベルト先端を抜き、右図のように通します。



② ベルト先端を、バックルの裏側から通します。ベルトの先端を矢印の方向に、⑥の穴からベルトを通します。



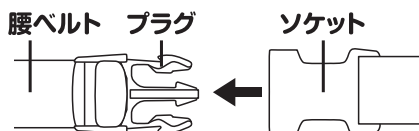
③ ベルト先端を②の穴とベルトの狭いすき間に少しずつ押し込んで引き出します。あとはベルトの長さを調整してご使用ください。



シートベルト着用方法

① 取り付ける時

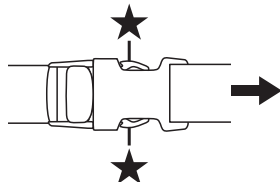
腰ベルトのソケットに、プラグを差し込みます。



- ※使用中は必ずシートベルトを着用してください。
- ※ソケットからプラグが抜けないことを確認してください。
- ※シートベルトをお子様の体に合わせて、たるみがないように長さを調整してください。

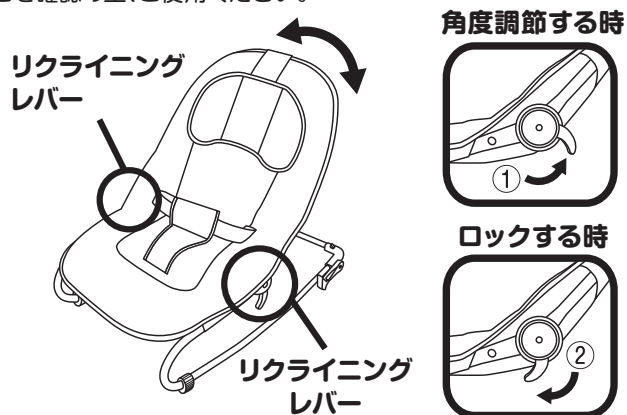
② 取り外す時

★印の箇所を押して、プラグを抜いてください。



リクライニング調整時の注意事項

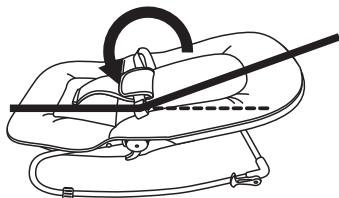
リクライニング角度を調整する場合は左右のリクライニングレバーを①の方向へ動かした状態で背もたれの角度を変更してください。リクライニング角度変更後は、リクライニングレバーが②の方向へ動かした状態(ロック状態)になっていることを確認の上、ご使用ください。



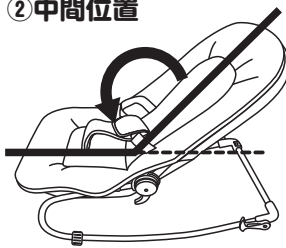
リクライニング角度の目安

シートを一番倒した状態でロックがかからないポジションは**収納ポジション**になります。使用時は必ずリクライニングレバーのロックがかかる位置で、ロックをかけてご使用ください。

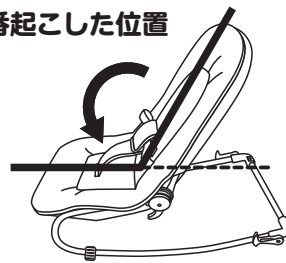
① 一番倒した位置



② 中間位置



③ 一番起こした位置



月齢目安	0ヶ月～	3・4ヶ月～	5・6ヶ月～18ヶ月
発育目安	首がすわる前	首がすわってから	腰がすわってから
リクライニング角度	①	①・②	①・②・③

警告

※お子様を乗せた状態で、リクライニング操作を行わないでください。

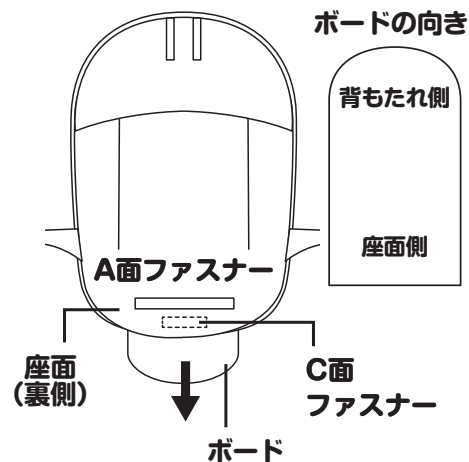
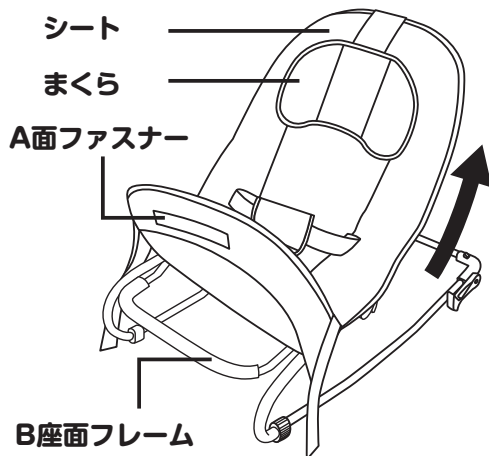
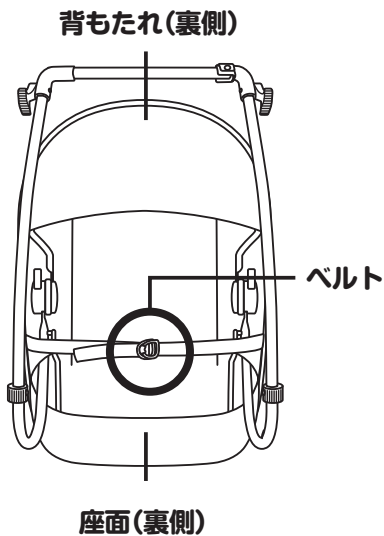
※本体前方にイスのように座らせないでください。特に前かがみになりますと、転倒の危険性があります。

注意

※シートは最も寝かせた状態(①)でも水平にはなりません。状態(①)でお子様を乗せると水平に近い状態になるように設定されていますが、お子様の位置によっては、頭部が下がってしまうことがありますので、頭部が下がらない状態まで背もたれ角度を合わせてからご使用ください。
※一番倒した状態、もしくは一番起こした状態でのロックは、転倒防止のためロック量を制限しております。

シートの外し方

- ① 本体を押さえながら、ホロとトイバーを取りはずしてください。
- ② 座面裏側のベルトをはずしてください。
- ③ 背もたれを起し、座面裏側にあるA面ファスナーをはずしB座面フレームからシートを取りはずし、そのまま引き上げてフレームからシートを完全にはずしてください。その後、まくらを取りはずしてください。
- ④ シートの座面裏側のAC面ファスナーをはずし、中に入っているボードを取り出してください。



※ボードを取り出す際は、無理に引っばらないでください。
※ボードを取り付ける際は、ボードの向きにご注意ください。

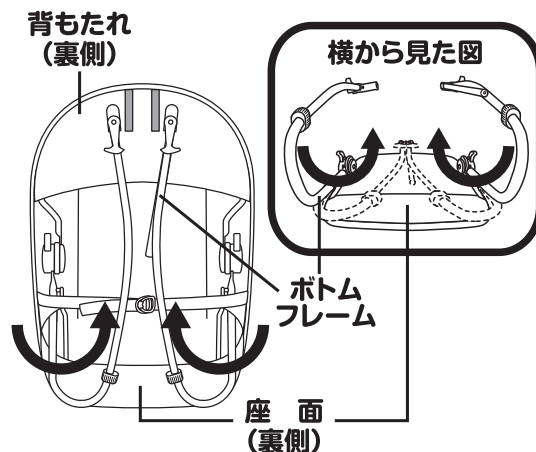
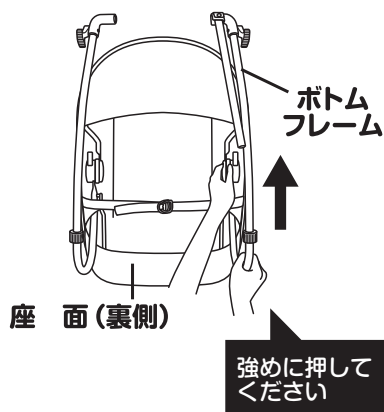
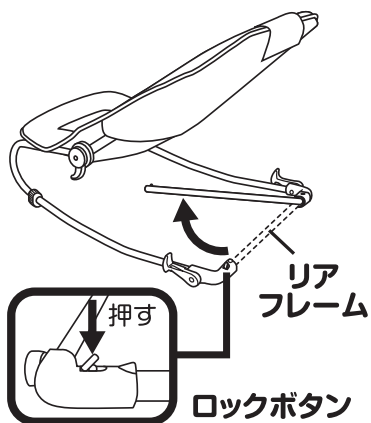


※座面裏側のベルトにゆるみがあると事故につながる危険性があります。ご使用時はゆるみがない事を確認してからご使用ください。

※シートを取り付ける際は、逆の手順で取り付けてください。

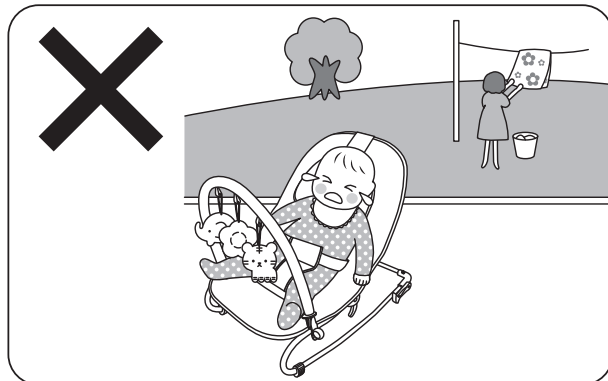
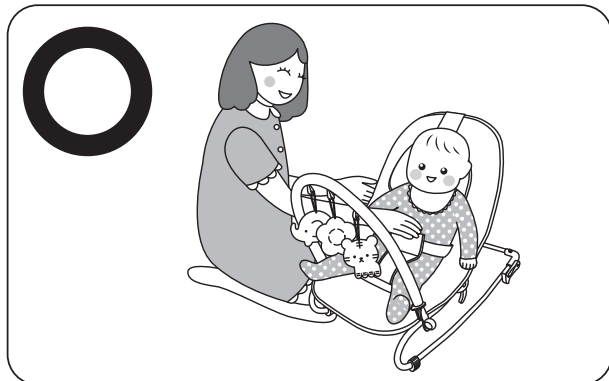
折りたたみ方法

- ① ロックボタンを押しながらリアフレームを内側に向けてスライドさせます。
- ② 片手でリクライニングレバーを持ち、もう片方の手でフレームを持ちながら「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押し、ロックを解除しボトムフレームを内側に向けて回転させ、たたみます。
- ③ 反対側も同じ手順でボトムフレームをたたみます。

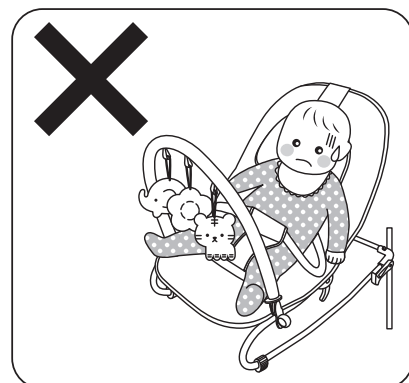
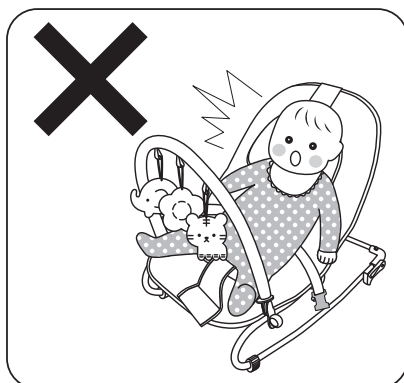


バウンサーをご使用する際の注意事項

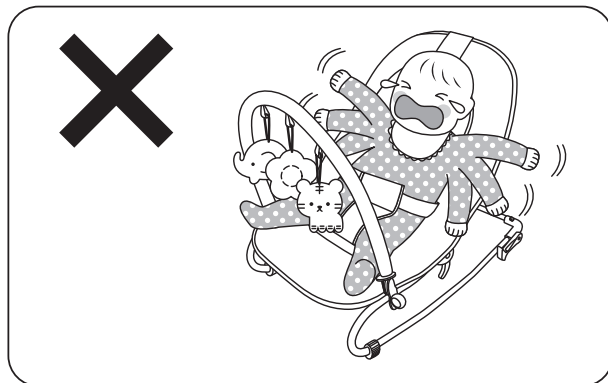
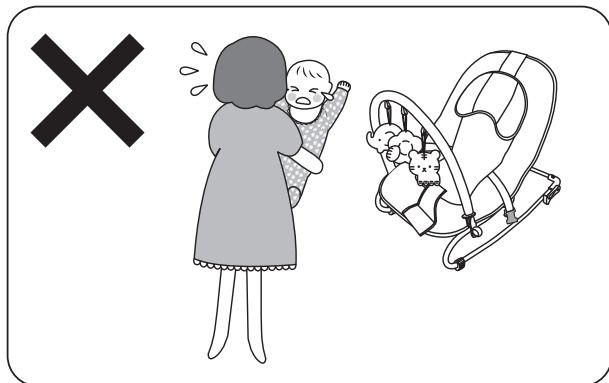
◆必ず目の届く範囲でご使用ください。



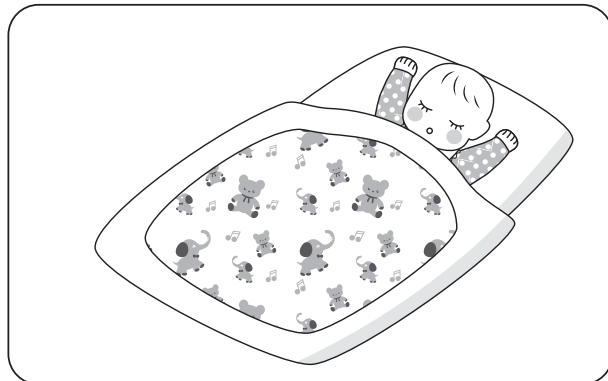
◆必ず安全ベルトは股あてに通して、緩みなく装着してください。



◆お子さまがバウンサーに乗るのを嫌がる場合、もしくはバウンサーの上で大きくのけぞったりして、バウンサーを拒絶するような動きをしている場合は、無理に使用しないでください。



◆バウンサーは寝具ではありませんので、お子さまが就寝の際は、布団やベッドに移してください。



お手入れ方法

【ベースシート、まくら、トイ(人形)、スワドルベルト】

- 30℃以下のぬるま湯で中性洗剤を使用し、やさしく手洗いしてください。
 - 手洗後は軽く絞って、風通しの良い日陰で自然乾燥してください。
- ※素材の特性上、洗濯により多少色あせする場合があります。

【ホロ及びフレーム】

- 湿らせた布などで汚れを拭きとり、風通しの良い日陰で自然乾燥してください。
- ※油をさしたり、水につけたりしないでください。
※研磨剤やシンナーなど化学薬品は使用しないでください。

保証基準

- ①本製品の品質保証期間は、お買い求めになった日より6ヶ月間です。
- ②保証期間内に、部品や付属品の欠品・加工不良など、当社の責任によるものは無償保証させていただきますが、お客様の責任によるものは保証対象外になります。
- ③保証期間内でも次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - ・プラスチック部分の自然劣化による変色 ・縫製品や樹脂部の紫外線劣化
 - ・故意によるフレームや樹脂部の破損、縫製品の破損や破れ
 - ・お客様の間違った使い方、または改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷
 - ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷
 - ・保証書のご提示がない場合
- ④原則として、一度ご使用になった製品は、部品や付属品の欠品・加工不良のものを除き保証対象外になります。
- ⑤保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑥ご贈答、ご移転などで保証書に記載の販売店で保証サービスが受けられない場合は、お客様相談窓口にご相談ください。
- ⑦製造終了後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、保証できない場合がございます。
- ⑧保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。
保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。
- ⑨ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップ等の非正規流通経路にてご購入された製品は使用履歴等が不明なため、弊社の保証対象からは除外させていただきます。

※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

この商品の品質でお気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル



0120-7-24028

受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

MADE IN CHINA